

笑顔がいっぱい



平成25年度 第10ブロック母親委員だより その2 平成25年11月発行

1. 8月24日（土）清水消防署にて「普通救命講習Ⅰ」を受講しました。

<救命処置の手順>～心肺蘇生法とAED～

(1) 反応を確認

①呼びかける、肩を軽く叩く ②119番通報・助けを呼ぶ ③AEDを持ってきてもらう

(2) 呼吸の観察

①胸・腹部の動きを見る

(3) 胸骨圧迫

①胸の左右の真ん中に胸骨があり、この骨の下半分を両手で圧迫する、

②圧迫の深さは5cm沈み込むように強く・速く、100回/分以上行う

(4) 人工呼吸

①胸の上がりが見える程度吹き込む ②約1秒かけて2回実施 ※人工呼吸は省略可能

(5) AED到着

①AEDが近くにあれば早期に実施 ②AEDのメッセージに従う

(6) 電気ショック

①ショック後のメッセージに従う ②心配蘇生法を約2分間行う ③その後のメッセージに従う

勇気を持って
行動すること
が
大切！！



★大切なのは、勇気を持って行動し、救急隊が来るまで「胸骨圧迫」を強く速く、そして絶え間なく続けることです。

★この講習は、消防署に申請するか、また公民館で開催されることもあります。万が一に備え、積極的に受講しましょう。

2. 10月30日（水）清水駒越小学校にて講演会に参加させて頂きました。

講題 『昔話から心をどう育てるか』

講師 萩野谷 秀枝（はぎのや ほずえ）さん



「お月とお星の話」を聞かせてくださいました。この物語の内容は、腹違いの仲の良い姉妹の姉が継母にいじめられ殺されかけるが姉思いの妹と父親が助けるという、少し残酷な話でしたが、昔話にはこのような話は少なくなく、子どもは沢山の話を聞く中で物事の善し悪しや、社会・人間関係を学んでいくことができるので、昔話の読み聞かせが大切という思いを伺いました。

先生の読み聞かせが素敵で聞き入ってしまいました。と同時に読み聞かせの魅力・大切さを再確認できました。

また、子どもが悩んでいる時やつらそうな時は、いつもより少し食事に手を掛ける事で、子どもは安心感を得られ挫折から立ち直ることができるというアドバイスも印象的で勉強になりました。

萩野谷先生プロフィール

中学高校の先生を経て退職後、様々な年代に係わる地域活動に携わっている。耳で聞く「読み聞かせ」の重要性を説き、小学校や図書館、交流館などで昔話の読み聞